

授業料不徴収協定に基づく派遣交換留学終了報告書

留学プログラム名	派遣交換留学		
所属(本学)	理工学研究科 物性物理学専攻		
現在の学年	修士 2年		
留学先国	アメリカ	留学先大学	ジョージア工科大学
留学期間	2015年 8月17日 ~ 2016年 5月7日		

① 留学先大学の概略

ジョージア州のアトランタにあるジョージア工科大学に通っていました。アトランタはあまり治安が良くないことで知られていますが、学校周辺はパトロールもたくさん巡回しており、特に治安の悪さを感じることはありませんでした。理工系大学であるが、女子の比率は想像より高めでした。アジア系やヨーロッパ系の学生が多めという印象でした。また交換留学生も割と多く、交換留学生同士で交流できるイベントなども数多くありました。

② 留学前の準備

私は大学院で留学したので、修士2年間のうち、1年間分の研究を留学先で行うという計画を東工大での研究室の指導教員と立てたため、卒業時期は延ばさない予定です。修士論文は日本での研究と留学先での研究結果を併せて書く予定です。留学先の指導教員との準備はメールやスカイプで行いました。住居探しは留学先の研究室からキャンパス周辺のアパートや寮情報を教えてもらい、決めました。専門分野の準備に関しては、事前に留学先の指導教員に相談に乗ってもらい、読んでおくと良い論文や書物を教えていただきました。

ジョージア工科大学への留学には GRE のスコアも必要であったため、事前に TOEFL と GRE の両方を受けました。GRE や TOEFL の勉強をすることで語学の準備も同時に進めることができたと思います。

今年の就活の面接は6月~であったため、留学中は就活はせず、5月にセメスターが終わって帰国後に就職活動に専念しました。企業の情報は11月のボストンキャリアフォーラムに参加して入手しました。

ビザは昨年の6月の米大使館のイベントで J1 ビザを取得しました。

③ 留学中の勉学・研究

前期は研究に専念したかったため、授業は履修せずに Audit という形で申請しました。研究室でははじめは分からないことがたくさんあり大変でしたが PhD の学生や Postdoc の方から丁寧に教えてもらいました。後期は授業を1科目(Statistical Mechanics)履修しました。授業は基礎から応用まで幅広くカバーしており、レポートも毎週提出しなければいけなかったため、かなり大変でした。しかし先生や TA が Office hour を週に何度か設けてくれたため、たくさん質問に行き1つの授業からたくさん得ることができたと感じています。テスト前は研究室や図書館で泊まり込みで勉強していました。

④ 留学中に行った勉学・研究以外の活動

学校のフットボールやバスケットボールの試合は(学生は無料だったため)数多く見に行きました。長期休みは近くの州(ボストン、ニューヨーク、シカゴなど)に旅行に行きました。

冬休みは留学生を対象とした外部のプログラムでフロリダに旅行に行きました(2週間で200ドルほどだったためとても安かったです)。

また研究室はヨーロッパ系の学生が多く、スペインのパエリアパーティーやドイツビールパーティーやギリシャフードパーティーなどを研究室でやりました。私も寮に研究室の人たちを呼び、手巻き寿司パーティーを行いました。

学校の近くにボルダリングができるところもあり休日はよく行っていました。



研究室パエリアパーティー



フロリダプログラム(冬休み)

⑤ 留学を終えて、自分自身の成長を実感したエピソード

留学先の研究室ではゼミが週に2回あり、全員が毎回必ず何らかの方法でミーティングで何かしら contribute する必要がありました。初めの頃は、英語の専門用語も分からないし議論が盛り上がっている中で自分の意見を英語でぶつけていくことになかなか慣れず苦勞しましたが、気付いたら自分も他の学生と同じようにできるようになっていたことに気づいた時に一番自分の成長を感じました。この習慣は帰国した今、日本でも活かしていると思います。

⑥ 留学費用

- 渡航費： 行きはお盆の時期だったため航空券は高く、20万円近くかかりました。帰りは早めに券をとったため10万ちょっとでした。
- 生活費： アメリカではレストランに行くと tip を払わないといけないため、外食費はかなりかかりました。昼は週に何度かお弁当を持って行って節約していました。夜はルームメイトと自炊していました。
- 住居費： アトランタでは月10万円払えばとてもいいアパートに住むことができます。私はキャンパス内の大学院生の寮に住んでおり、月9万ちょっとで2人1部屋(部屋にキッチン、洗濯機、洗面所、リビングが付いていました)でした。もっと探せば月4、5万でキャンパスの近くに住むこともできたと思います。
- 保険料： 東工大で紹介してもらった保険プランに加入しました。10か月で9万ほどでした。
- 奨学金： トビタテから月16万円(+渡航費20万円)を受給していました。

⑦ 留学先での住居

寮に住んでいました。ルームメイトはもう一人いました。学校のウェブサイトから申し込みました。

⑧ 留学先での語学状況

授業、研究、生活全て英語です。留学先は日本人が少なく、日本語を話す機会はほとんどありませんでした。

⑨ 単位認定、在学期間

取得単位の認定は行わない予定(東工大で既に似た授業を履修していたため)
在学期間の延長は行わない。

⑩ 就職活動

留学先:ポストンキャリアフォーラムに参加し、企業の情報入手。また日本から就職四季報や就職情報雑誌を親に頼んで送ってもらい、時間のある時に読みました。
現在は留学した学生を積極的に採用してくれる企業が増えている印象を受けました。そのため帰国後に就活を始めても十分間に合い、6月上旬には内定をいただくことができました。

⑪ 留学先で困ったこと

日本にいる間に必要な予防注射を全て打たなかったため、現地で残りの分を打つことになり予想以上の出費でした。

⑫ 留学を希望する後輩へアドバイス

渡航前は語学、勉強、研究、生活、就活への影響など不安がたくさんありましたが、いざ行ってみると何とかなると感じました。留学はたくさんのお金を吸収でき、色々なバックグラウンドをもつ人に出会うこともできる貴重な機会です。是非挑戦してみてください。